

一般財団法人 守 谷 育 英 会  
2017年度 奨学生募集要項

## 1. 応募資格

- (1) 東京都内の高校、高専、短大、大学、大学院に在学、または東京都内に居住し高校、高専、短大、大学、大学院に在学している学生生徒で、学業、人物とも優秀であって、学資の支弁が困難な者。  
(2) 外国人留学生も、適格者は採用する。(但し、国費留学生の応募は不可)

2. 奨学生の給与額	高 校 生	月 額	30,000円
	短大・高専生	"	40,000円
	大 学 生	"	100,000円
	大 学 院 生	"	100,000円

(当財団奨学金は給与の為、返済の必要は有りません。併願・併給可能)

3. 奨学金支給期間 卒業(修了)までの最短修業期間 ※初回は4月に遡って給付  
4. 募集予定人員 約70名(昨年度採用数77名(応募者総数1,092名))  
5. 応募必要書類

A 奨学生願書(当財団所定用紙…様式1)

B 参考資料(当財団所定用紙…様式2:日本人学生用/留学生用・様式3・様式4)

C 在学証明書(2017年4月以降発行のもの。オリジナル提出のこと。コピー不可。)

D 成績証明書(オリジナル提出のこと。但し、大使館又は学校で原本証明を取得すればコピーでも可。  
● 新入生:その学校に入学する前に卒業した学校の成績証明書。※調査書でも可。  
※日本語学校及び専門学校での成績証明書は不可。

● 在学生(大学院生は除く):在学校の成績証明書。

● 修士課程新入生:学部での成績証明書。

● 修士課程2年生:学部の成績証明書と前年度の成績証明書の2通。

● 博士課程新入生:学部の成績証明書と修士課程の成績証明書の2通。

● 博士課程2年以上の院生:学部の成績証明、修士課程の成績証明書及び博士課程の成績証明書の3通。

E 父、母、あるいは主たる家計支持者の前年の所得証明書 ※外国人留学生は提出不要。

● 給与所得者 … 2016年の源泉徴収票(コピー可。)

● 給与所得以外… 税務署等による2016年分の所得を証明するもの(コピー可。) ※チェックリスト参照

F 指導教官または主任教授の推薦書 ※必ず全文肉筆・親展、応募者本人の閲覧不可。

(書式については自由、英文可。英文以外の言語で推薦書を作成する場合訳文添付のこと。)

G 写真1枚(6ヶ月以内に撮影した上半身、正面、無帽、タテ4.5cm×ヨコ3.5cmのもの。)  
\* 願書様式1-1/3の写真枠に貼付のこと。裏面に氏名を記入すること。

H 住民票の写し ※ 都内に居住で東京都以外に所在の学校に在学する方のみ

6. 応募書類の締切期日 2017年5月9日(火) ※(一財)守谷育英会 必着  
(但し、大学によっては取り纏めの為に締切日を早めに設定している  
場合がある。その場合は、大学の締切期日に合わせること。)

## 7. 選考方法

(1) 第1次:書類審査 第2次:面接(書類審査通過者のみ)

(2) 面接は、6月21日(水)～6月23日(金)に行う予定。面接日時の詳細は、  
面接対象者および学校宛に6月中旬頃通知する。

(3) 選考の結果は、6月末日頃までに決定し、全応募者および各学校宛に書面で通知する。

## 8. その他

(1) 応募書類は、一切返却しない。

(2) 応募先及び問い合わせ先:一般財団法人守谷育英会 事務局

〒103-0028 東京都中央区八重洲1-4-22 (TEL:03-3271-2734 ※電話応対:平日午前9時～午後5時)

※申請者本人並びに学校関係者の間合せのみ対応致します。 ※よくある質問と回答をまとめた、別紙Q&Aもご参照下さい。

## 《個人情報取り扱いに関して》

当財団は、ご提出頂いた申請書に記載された個人情報を、選考や事務連絡に使用致します。また、  
収集した個人情報は適正に管理し、ご本人の同意なく無断で第三者に提供することは致しません。

各学校の奨学金ご担当の方へのお願い

当財団の奨学生募集に際しましては、種々ご高配を賜り誠に有難うございます。

毎年多くの方のご応募に対し、公平、正確を期するため慎重な審査を心がけております。就きましては各学校の奨学金をご担当されている皆様方には、次の様な事項に特にご留意の上、応募者をご指導頂きますようお願い申し上げます。

1. 応募者の中には、奨学生願書（当財団所定用紙）への記入が不備の為、選考上取り扱いに困ることがあります。応募書類の不足や願書の未記入箇所がないようご指導願います。
2. 家族状況欄及び経済状況欄：願書の注意事項（様式1-2/3）の通り、詳細に記入するようご指導願います。
3. 推薦書は本人のを知る手段として、書類選考の際、非常に重視されます。応募者には下記のことをご注意の上、推薦者へ依頼するようご指導願います。

\* 推薦者：「指導教官又は主任教授」とお願いしておりますが、新入生の場合には、親族以外の身元保証人、又は高校の先生等、本人をよく知る方をお願いして下さい。また、推薦者と応募者との関係について明確に記載頂くようお願い致します。

\* 書式：書式は自由ですが、全文肉筆でお願い致します。  
サインのみ肉筆のものは認めておりません。

肉筆で推薦書が作成できない場合には、その理由を推薦書に明記下さい。

\* 推薦内容：応募者が学術優秀で奨学生としてふさわしいことはもちろんのこと、家庭環境・経済面等、奨学金を必要としている状況等を詳しく記載頂きたくお願い致します。

\* 推薦書は、英文でも結構です。（但し、英語以外の言語の場合は訳文を添付下さい。）

\* （一財）守谷育英会宛に「親展」として、差封のまま願書に添付下さいませようお願い致します。

4. 当財団は併願・併給が可能ですが、他財団が禁止している場合がありますのでご確認下さい。
5. 絵画制作を専攻されている学生に対しては、当財団の修学奨励金への応募をご指導願います。（5月頃、各美術系大学宛に募集要項をお送り致します。）
6. 応募者多数の場合、応募願書はコピーして配布下さいますようお願い致します。
7. 毎年ご質問の多い項目を別紙Q&Aに纏め同封致しましたので、ご参照下さい。

奨学生として応募される方へ ―― 応募書類チェックリスト ――

応募に必要な書類は次の通りです。抜け落ちがないよう確認の上、提出して下さい。

1. 奨学生願書 (当財団所定用紙 … 様式1)
2. 参考資料 (当財団所定用紙 … 様式2:日本人学生用/留学生用・様式3・様式4)

3. 在学証明書 ※ 2017年4月以降発行のもの。オリジナル提出のこと。コピー不可。

4. 成績証明書 ※ オリジナル提出のこと。コピー不可。  
※ 外国人留学生で、成績証明書が原本一部しかない場合には、大使館又は学校にて原本証明が取得できればコピーのものでも認める。  
※ 応募者によって提出する成績証明書の種類が異なるため、下記の区分に十分注意のこと。

- 新入生の場合 … その学校に入学する前に卒業した学校(中学、高校、大学等)の成績証明書。(高校は調査書可。)  
※ 例 応募者が大学院博士課程2年生の場合：  
学部の成績証明書、修士課程の成績証明書、博士課程1年次の3通が必要。

- 在学生の場合 … 在学校の成績証明書。入学年度から2016年度迄の(大学院生は除く) 成績が記載されているもの。

- 大学院在学生の場合 … 学部生時代の成績証明書と、在学校の成績証明書。  
※ 例 応募者が大学院博士課程2年生の場合：  
学部の成績証明書、修士課程の成績証明書、博士課程1年次の3通が必要。

5. 父、母、あるいは主たる家計支持者の前年の所得証明書(1名分のみ提出)

※ 外国人留学生(在留資格が「留学」の学生)は提出不要。

- 給与取得者 … 2016年の源泉徴収票(コピー可。)
  - 給与取得以外 … 税務署又は地方公共団体による2016年分の所得を証明するもの  
※ 例 所得証明書、非課税証明書、確定申告書(控)等。※コピー可
- ※ 2016年度分が提出できない場合、2015年度分を添付の上、様式1-2/3の家族状況備考欄に2016年度分取得不可の理由を明記すること。

6. 指導教官又は主任教授の推薦書

(新入生の場合、卒業した学校の先生又は親族以外の方に依頼すること。在学校の指導教官にお願いする場合は、応募者が奨学金を必要とする理由をよく説明した上で依頼すること。)

推薦書依頼時は、奨学金が必要である状況を詳しく伝え、以下の要領で作成を依頼して下さい。

- 全文肉筆のもの(サインだけ肉筆は不可。肉筆での推薦書が作成できない場合には、その理由を推薦書に明記下さい。)
- 親展(一般財団法人守谷育英会宛に完封の上、願書に添付して下さい。)
- 書式は自由です。用紙、枚数の指定はありません。
- 推薦書に、推薦者と応募者の関係を明記して下さい。
- 推薦内容については、応募者が学術優秀で奨学生としてふさわしいことはもちろんのこと、家庭環境・経済面等、奨学金を必要としている状況を記載して下さい。
- 推薦書は、英文でも結構です。但し英語以外の言語の場合、応募者本人以外が作成した訳文を添付下さい。(訳者氏名を明記のこと)

7. 写真1枚(6ヶ月以内に撮影した上半身、正面、無帽、タテ4.5cm×ヨコ3.5cmのもの)を願書に貼付。※裏面に氏名記入のこと

8. 住民票の写し ※ 都内に居住で、東京都以外に所在する学校に在学する学生のみ

応募先 及び問い合わせ先：一般財団法人守谷育英会 事務局

〒103-0028 東京都中央区八重洲1-4-22

TEL: 03-3271-2734 (電話問合せ：平日午前9時～午後5時)

※よくある質問と回答をまとめた、Q&Aを同封致します。お問合せの前にご一読下さい。

一般財団法人 守谷育英会  
2017年度 奨学生願書

<書類作成上の注意>

- 1 黒インク又は黒のボールペンで記入のこと。
- 2 年号は西暦を使用し、日本語で記入すること。(自筆のこと)
- 3 記入は、楷書及びローマ字活字体を用いること。
- 4 数字は算用数字 (1, 2, 3, 等) を用いること。
- 5 固有名詞はすべて正式な名称とし、一切省略しないこと。
- 6 所定用紙中のすべての欄に正確に記入し、該当事項がない場合は“なし”と明記すること。
- 7 未記入の箇所があるときは、選考の対象から除外される場合がある。

写真  
裏面に氏名記入のこと  
6ヶ月以内に撮影した  
上半身、正面、無帽、  
4.5cm×3.5cm  
のものを貼付すること  
しっかりと糊付けすること

氏名 \_\_\_\_\_ 生年月日 \_\_\_\_\_ 年 \_\_\_\_\_ 月 \_\_\_\_\_ 日 性別 男・女  
フリガナ \_\_\_\_\_ 年齢 \_\_\_\_\_ 歳 出生地 \_\_\_\_\_

漢字名 \_\_\_\_\_ 国籍 \_\_\_\_\_ 出生地 \_\_\_\_\_

※枠内は留学生のみ記入

NAME \_\_\_\_\_ <パスポート>  
IN NATIVE SCRIPT \_\_\_\_\_ 発行日 \_\_\_\_\_ 発行場所 \_\_\_\_\_  
IN ALPHABET \_\_\_\_\_ <ビザ/在留資格>  
Japanese pronunciation (カタカナ) \_\_\_\_\_ issue No./許可番号 \_\_\_\_\_ category/資格 \_\_\_\_\_  
発行日 \_\_\_\_\_ 発行場所 \_\_\_\_\_

〒 \_\_\_\_\_ (都・県) \_\_\_\_\_ (区・市・郡) \_\_\_\_\_ ( \_\_\_\_\_ 様方) TEL \_\_\_\_\_  
[自宅・アパート・下宿・寮] \_\_\_\_\_ 携帯 \_\_\_\_\_  
\_\_\_\_\_ メールアドレス \_\_\_\_\_

家族住所 \_\_\_\_\_ TEL \_\_\_\_\_  
(FAMILY ADDRESS)

在学校 (高校・短大・大学生記入) ※西暦で記入すること。  
\_\_\_\_\_年 \_\_\_\_\_月 \_\_\_\_\_年 \_\_\_\_\_月 \_\_\_\_\_大学 [学校] \_\_\_\_\_学部 \_\_\_\_\_学年  
(入学) \_\_\_\_\_ (卒業予定)

在学校 (大学院生記入)  
\_\_\_\_\_年 \_\_\_\_\_月 \_\_\_\_\_年 \_\_\_\_\_月 \_\_\_\_\_大学 \_\_\_\_\_研究科 \_\_\_\_\_専攻 \_\_\_\_\_学年  
(入学) \_\_\_\_\_ (修了予定) [修士・博士] 指導教官名 \_\_\_\_\_

推薦者：(学校名・会社名等) \_\_\_\_\_ (氏名)

学歴 <在籍中のものから順に記入のこと> \*留学生で兵役を終えた方は、兵役期間も記入下さい。

(入 学) (卒 業) (学 校) (学部・学科)

年 月 年 月  
 .....  
 年 月 年 月  
 .....  
 年 月 年 月  
 .....  
 年 月 年 月  
 .....

職歴 <2ヶ月以上の不定期雇用(アルバイト)を含む職歴 最近のものから記入のこと>

年 月 年 月 勤務先 ..... 職種 .....

年 月 年 月 勤務先 ..... 職種 .....

家族状況 <全兄弟姉妹を記入のこと> <単位：万円、留学生の家族収入は現地通貨にて記入>

続柄	氏名	年齢	職業(学校名、勤務先・役職名)	税込年収	備考
本人					
配偶者					
子					
父					
母					

※家族状況欄について記載上の注意点

- ・死別の場合は年齢欄に「亡」と記入し、備考欄に享年と没年を「〇〇才/〇〇〇〇年」の通り記入。
- ・離別の場合は年齢欄に「離」と記入し、備考欄に年月を付記。
- ・父母が定年退職している場合は前職業を記入「前職:〇〇」。税込年収欄には現在の収入(年金、不動産等)を記入。
- ・兄弟姉妹が学生の場合は職業欄に学校名、学部(大学院生の場合は修士、博士別)、学年を記入。
- ・応募者本人が既婚の場合も自分の両親及び全ての兄弟姉妹を記入。(兄弟姉妹が既婚の場合も必ず記入)

奨学金 <過去の受給状況及び現在の受給、応募状況について記入のこと>

(期間) (奨学財団名) (制度) (月 額) (応募 受給状況) (併給)

年 月 年 月 ..... (いすれかに○) 貸与/給付 ..... 万円 (いすれかに○) 応募中/受給中/完了 (いすれかに○) 可/不可

年 月 年 月 ..... 貸与/給付 ..... 万円 応募中/受給中/完了 可/不可

年 月 年 月 ..... 貸与/給付 ..... 万円 応募中/受給中/完了 可/不可

年 月 年 月 ..... 貸与/給付 ..... 万円 応募中/受給中/完了 可/不可

・卒業時点での貸与奨学金の受給総額 ..... 万円

※過去に受給したものの、現在受給中のもの、これから受給が確定している貸与奨学金の返済額総額を記入下さい。

経済状況

・学費年額（入学金含まず、施設設備費等を含む）

..... 円

・月額の平均収支

収入		支出	
アルバイト収入	..... 円	住居費	..... 円
種類 ( )	)	食費	..... 円
仕送額	..... 円	図書費	..... 円
誰から ( )	)	交通費	..... 円
他奨学金	..... 円	その他	..... 円
その他	..... 円		
収入合計	円	支出合計	円

※月額の平均収支欄について記載上の注意点

- ・応募者個人に掛かる月額収支額を記入のこと。自宅通学生は、住居費・食費等の負担額が無ければ0円で可。
- ・応募者が既婚の場合には、配偶者も含めた金額を記載すること。
- ・収入合計と支出合計は、同額にならなくても可。

誓約

私は、貴財団募集要項に記載された内容を理解し、奨学生として採用して頂きたく申請致します。申請書類の記載事項に虚偽が発見された場合、奨学金の支給を取りやめられても不服を申し立て致しません。

一般財団法人 守谷育英会 御中

申請年月日： 2017年 \_\_\_\_月 \_\_\_\_日

申請者署名： \_\_\_\_\_ 印

身元保証人<親族以外の方でも可、但し保証人の自筆・捺印のこと。必ず記入して下さい。>

保証人氏名 \_\_\_\_\_ 印 本人との関係 \_\_\_\_\_

住所 〒 \_\_\_\_\_ TEL \_\_\_\_\_

職業 (勤務先・役職名)

応募者住所

・当財団より応募者宛の文書連絡用宛名シールに使用しますので、住所は国内の連絡先を記入下さい。

・応募者の住所を楷書にて正確に記入願います。  
(寮、アパート、下宿先等も明記下さい。)

〒 \_\_\_\_\_ (都・県) \_\_\_\_\_ (区・市・郡)

\_\_\_\_\_

\_\_\_\_\_

\_\_\_\_\_ 様

## 参考資料

[留 学 生 用]

氏 名

大学・学部

&lt;次の質問になるべく詳しくお答えください&gt;

1. あなたが日本に来て勉強しようとしたのはなぜですか。またどんなことを勉強したいと思っていますか。

2. この大学 (大学院) を選んだのはどうしてですか。

3. 卒業したら母国へ帰りますか。日本で勉強したことをどのように生かしたいと思っていますか。

&lt;大学院生の応募者は次の事項も記入してください&gt;

研究テーマ：  
研究目的：

## 参考資料

[日本人学生用]

氏名

大学・学部

&lt;次の質問になるべく詳しくお答えください&gt;

1. あなたは大学（大学院）生活において、どんなことを勉強したいと思っ  
ていますか。  
.....  
.....  
.....2. この大学（大学院）を選んだのはどうしてですか。  
.....  
.....  
.....3. あなたは卒業後、勉強したことをどのように生かしたいと思っ  
ていますか。  
.....  
.....  
.....

&lt;大学院生の応募者は次の事項も記入してください&gt;

研究テーマ：

研究目的：  
.....  
.....  
.....





## 参考資料

氏名  
大学・学部

## 〈学業成績について〉

下記注意事項を参照の上、提出する成績証明書、評価毎の**科目数**(単位数ではありません)を表へ記入してください。  
(添付する成績証明書は、評価科目数記入のために開封したもので結構です)

## 1. 中学・高校・大学(学部生)等の成績証明書

点数評価(100点満点)	100点～80点	79点～70点	69点以下
ABC評価 ※1参照	(S) (AA) A	B	C以下
優良可評価	秀・優	良	可
5段階評価	5	4	3・2・1
科目数 ※3参照			

## 2. 大学院の成績証明書

点数評価(100点満点)	100点～80点	79点～70点	69点以下
ABC評価 ※1参照	(S) (AA) A	B	C以下
優良可評価	秀・優	良	可
5段階評価	5	4	3・2・1
科目数 ※3参照			

## 〈注意事項〉

※ 1 科目数を数える際には、点数評価を基準に行ってください。

【例】ABC評価で A=100～90 B=89～80 C=79～70 D=69～60 F=未取得  
という点数配分の成績証明書の場合、点数評価の表に従い数を記入ください。

※ 2 合格、認定などの評価の科目は数には入れないでください。

※ 3 単位数に関わらず、科目数を記入して下さい。

※ 4 科目数が無記入の場合、書類不備とみなすことがあります。

※ 5 大学院修士2年生以上の方は、1. 2. 両方の表を埋めてください。

※ 6 大学1年生の方は、高校3年間に履修した全科目が対象です。

1～3年の全科目数を評価ごとに記入して下さい。